

令和7年度 成果発表シンポジウムin 関東甲信越

～令和5,6年度HIV感染症看護師相互交流セミナー報告より～

当研究班では、令和5,6年度のHIV感染症看護師相互交流セミナーで事例をもとに看護師の役割やHIV陽性者支援について学び、看護師の役割遂行や支援活動、人材活用の課題への取り組みの工夫について多くのHIV陽性者に携わる看護師と情報共有してまいりました。更なるHIV感染症看護の実践に役立てるとともに、HIV陽性者の医療継続や療養支援体制の整備に努めていくことを目的に成果発表シンポジウムを開催いたします。

開催日:2025年10月24日(金)17:30~18:30

会場:zoomウェビナー

【参加URL】

<https://zoom.us/j/96742429887?pwd=77UUp0gaKk4J0kyXRuG4Qdf3Qv5E5u.1>

ID: 967 4242 9887 パスコード: 514954



総合司会:大金美和 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター(ACC) 患者支援調整職

17:30~17:35 開催挨拶 湯永博之

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター ACCセンター長)

17:35~17:50 HIV感染症看護師相互交流セミナー報告 大金美和

17:50~18:25 セミナーアンケート調査結果報告

・令和5年度

杉野祐子(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター ACC 副支援調整職)

松本雅美(横浜市立市民病院 感染症外来 看護師)

・令和6年度

小林あずさ(地方(独)東京都立病院機構 都立駒込病院 病棟主任)

竹林早苗(公立大学法人横浜市立大学附属病院 患者サポートセンター 看護師)

・HIV感染症看護師相互交流セミナーへの感想やご意見

知久照真(新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 / AIDS 予防財団理事-レジデント)

18:25~18:30 閉会挨拶 大金美和

主催:厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV感染症の医療体制整備に関する研究

研究代表者:湯永博之(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター ACCセンター長)

研究分担者:大金美和(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター ACC患者支援調整職)

「ブロック内中核拠点病院間における相互交流によるHIV診療環境の相互評価
とMSWと協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

協力:関東甲信越ブロックHIV治療中核拠点病院のHIV感染症担当看護師

問い合わせ先:国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター セミナー事務局
e-mail: hiv-hospital-info@jihs.go.jp